

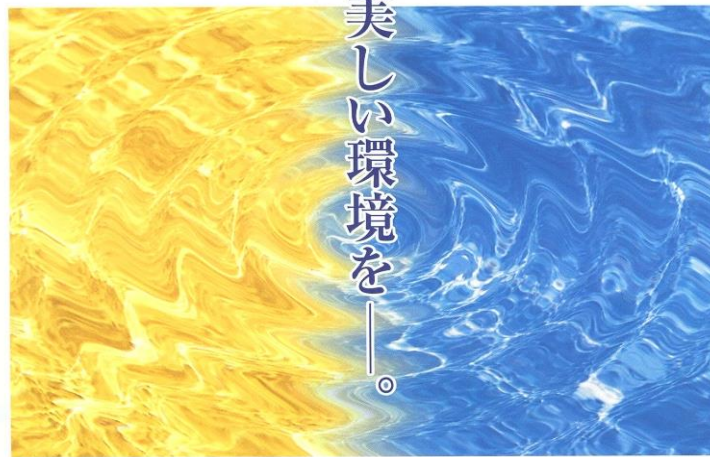
有限会社ヤマダ油脂



2020 年度 環境経営レポート

(対象期間 2019 年10月1日～2020 年9月30日)

人に地域に、美しい環境を――。



Clean & Recycle

Yamada Yushi

作成日： 2020年12月20日

環境経営方針

<環境経営理念>

滋賀で育った我々は、この豊かな自然と美しい琵琶湖を守ることが使命であると思い、企業のあらゆる活動面で、自主的・積極的に、環境への取組みを推進します。この豊かな自然と美しい琵琶湖を後世へと残し、より良い環境を目指し日々努力します。当社は廃食油リサイクルに携わる事業者として、下記の行動を積極的に取り組みます。

<環境保全への行動指針>

1. 環境関連法令規制等の遵守

環境関連法規制等及び当社が約束した環境活動を遵守します。

2. 当社は、次の環境活動を計画的に取り組み実施します。

1. 二酸化炭素排出量削減の推進

電力消費量や車両の化石燃料の使用量削減により、二酸化炭素排出量を削減します。

2. 廃棄物のリサイクル推進により、自社廃棄物を削減します。

事業活動に伴う一般廃棄物及び産業廃棄物の分別を行いリサイクルを推進し、廃棄物を削減します。

3. 水使用量削減の推進

事業場で使用する水の節水に努め、水の使用量の削減に努めます。

4. 製品またはサービスの環境配慮の推進

事業活動に伴う、リサイクル製品の積極的な販売を推進します。

5. 地域の環境活動に参加

会社周辺の美化運動、地域清掃活動に参加し、社会貢献を推進します。

制定日：2015年8月1日

改定日：2019年10月1日

代表取締役 **山田 博次**

□組織の概要

(1) 名称及び代表者名

有限会社ヤマダ油脂

代表取締役 山田 博次

(2) 所在地

本社 滋賀県犬上郡豊郷町八町1602番地

(3) 環境管理責任者氏名及び担当者連絡先

責任者 営業部長 諸角 朗

TEL：0749-35-3527

担当者 営業部長 諸角 朗

FAX：0749-35-3547

MAIL：morozumi@yamadavushi.jp

(4) 事業内容

廃食用油の回収及びリサイクル業、再生油脂の販売業、リサイクル石けんの販売業
産業廃棄物収集運搬業・産業廃棄物処分業・一般廃棄物収集運搬業

(5) 事業の規模

法人設立 昭和55年4月

資本金 300万円

売上高 483,43万円 (2020年度)

	本社事務所	本社工場	駐車場	
従業員	24名			
延べ床面積	86.76㎡	789.07㎡	462㎡	㎡
受託した産業廃棄物				
収集運搬量	1,178 t			
中間処理量	1,061 t	うち再資源化量		1,061 t
最終処分量	0 t			
中間処理後の産物の処分量	0 t	うち再資源化量		0 t
車種				
	台数	備考		
10tタンクローリー車	1台	廃食用油回収		
7tタンクローリー車	1台	廃食用油回収		
4tタンクローリー車	4台	廃食用油回収		
6tトラック	1台	廃食用油回収、産業廃棄物収集		
4tトラック	1台	廃食用油回収、産業廃棄物収集		
3tトラック	1台	廃食用油回収、資源ごみ収集		
2tトラック	1台	廃食用油回収、資源ごみ収集		
3tアルミバン	4台	廃食用油回収		
2tアルミバン	3台	廃食用油回収		
4tパッカー車	1台	一般廃棄物収集		
2tパッカー車	2台	一般廃棄物収集		
4tコンテナ車	1台	資源ごみ収集		
普通乗用車	4台	営業車		
軽自動車	1台	廃食用油回収、一般廃棄物収集		
合計	27台			

□認証・登録の対象組織・活動

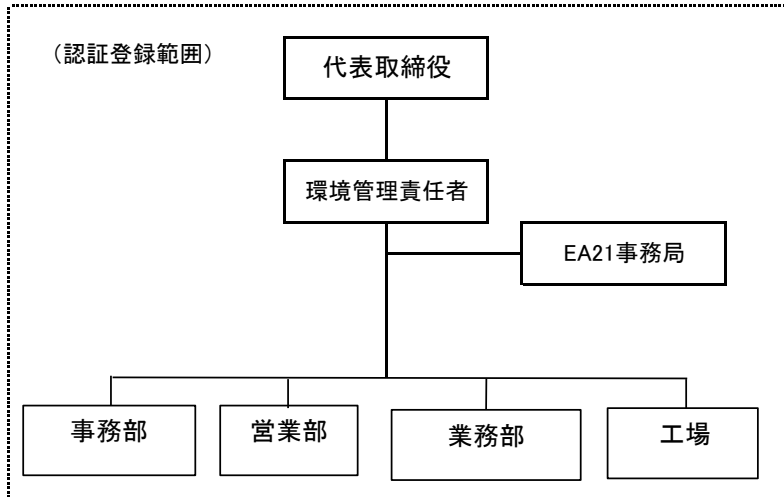
登録組織名：有限会社ヤマダ油脂

対象事業所：本社事務所及び工場

活動：廃食用油の回収及びリサイクル業、再生油脂の販売業、リサイクル石けんの販売業

□環境経営組織図及び役割・責任・権限表

更新日：2019年5月1日



	役割・責任・権限
代表者(社長)	<ul style="list-style-type: none"> ・環境経営に関する統括責任 ・環境経営システムの実施に必要な人、設備、費用、時間等経営資源を準備 ・環境管理責任者を任命 ・環境経営方針の策定・見直し ・課題とチャンスの明確化 ・環境経営目標・環境経営計画書を承認 ・代表者による全体の評価と見直し、指示 ・環境経営レポートの承認
環境管理責任者	<ul style="list-style-type: none"> ・環境経営システムの構築、実施、管理 ・環境関連法規等の取りまとめ表を承認 ・環境経営目標・環境経営計画書を確認 ・環境活動の取組結果を代表者へ報告 ・環境経営レポートの確認
環境事務局	<ul style="list-style-type: none"> ・環境管理責任者の補佐、の事務局 ・環境負荷の自己チェック及び環境への取り組みの自己チェックの実施 ・環境経営目標、環境経営計画書原案の作成 ・環境活動の実績集計 ・環境関連法規等取りまとめ表の作成及び最新版管理 ・環境関連法規等取りまとめ表に基づく遵守評価の実施 ・環境関連の外部コミュニケーションの窓口 ・環境経営レポートの作成、公開(事務所に備付けと地域事務局への送付) ・環境経営計画の審議 ・環境活動実績の確認・評価
各部門長	<ul style="list-style-type: none"> ・自部門における環境経営方針の周知 ・自部門の従業員に対する教育訓練の実施 ・自部門に関連する環境活動計画の実施及び達成状況の報告 ・自部門に必要な手順書の作成及び手順書による実施 ・自部門の想定される事故及び緊急事態への対応のための手順書作成 ・試行・訓練を実施、記録の作成 ・自部門の問題点の発見、是正、予防処置の実施
全従業員	<ul style="list-style-type: none"> ・環境方針の理解と環境への取り組みの重要性を自覚 ・決められたことを守り、自主的・積極的に環境活動へ参加

□許可の内容

一般廃棄物収集運搬業許可の内容

許可区域	許可番号	許可年月日	許可有効年月日	備考
豊郷町	なし	令和2年3月9日	令和6年3月31日	
長浜市	広行指令第30号	令和元年7月4日	令和3年7月3日	

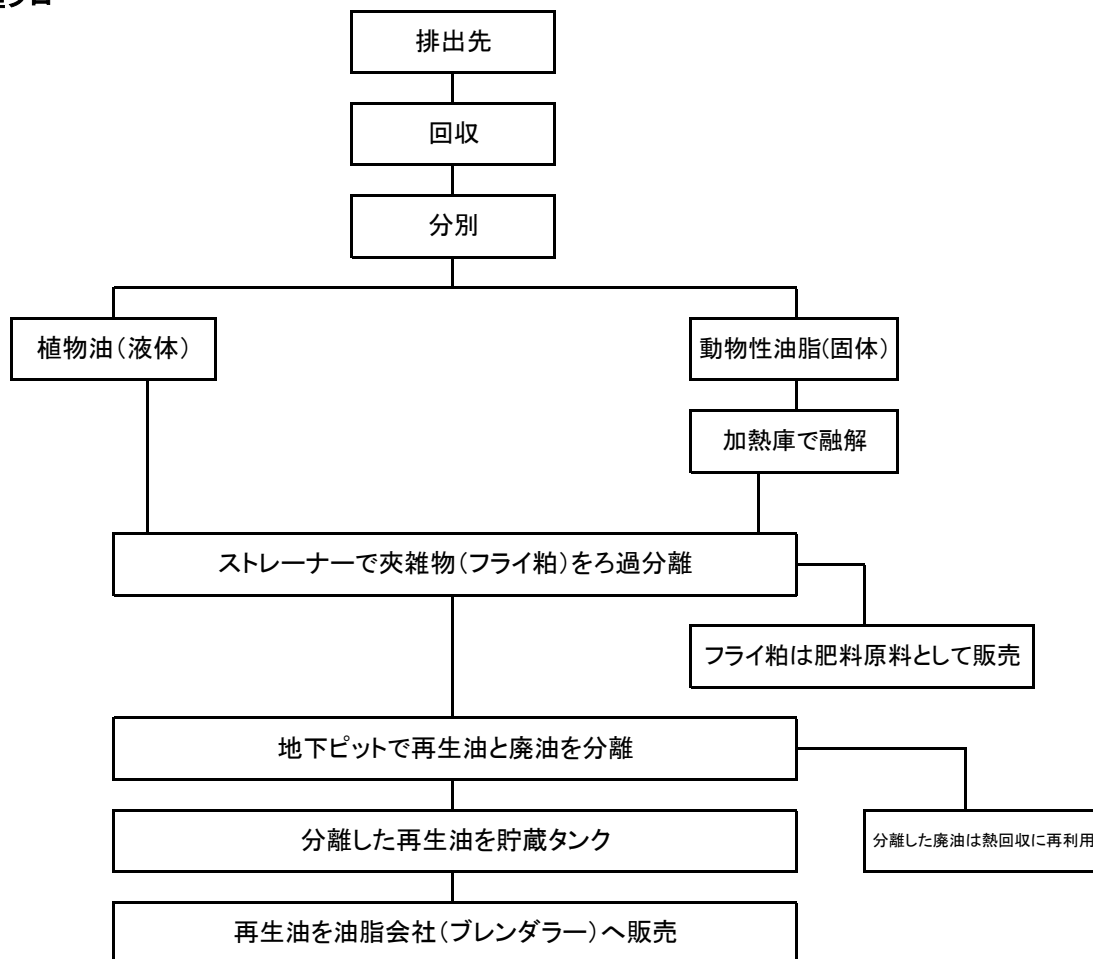
産業廃棄物収集運搬業許可の内容

許可区域	許可番号	許可年月日	許可有効年月日	積替保管	廃棄物の種類														
					燃え殻	汚泥	廃プラスチック	木くず	紙くず	繊維くず	ゴムくず	ガラス・コンクリート・陶器くず	がれき類	廃油	廃酸	廃アルカリ	金属くず	動植物性残さ	鉱さい
滋賀県	第02500108538号	平成31年3月6日	令和6年2月26日	無	○	○	○	○	○	○	○	○		○	○	○	○	○	
京都府	第02600108538号	令和元年7月12日	令和6年5月24日	無	○	○	○	○	○	○	○	○		○				○	○
大阪府	第02700108538号	平成31年4月9日	令和6年4月8日	無	○									○				○	○
奈良県	第02900108538号	令和元年7月23日	令和6年7月22日	無	○									○				○	○
三重県	第02400108538号	令和元年5月22日	令和6年3月3日	無							○			○	○	○	○	○	○
福井県	第1807108538号	平成31年1月16日	令和5年12月21日	無	○	○	○	○	○	○	○			○	○	○	○	○	○
石川県	第01703108538号	平成31年2月15日	令和6年1月8日	無	○	○	○	○	○	○	○			○	○	○	○	○	○
富山県	第01606108538号	令和元年7月16日	令和6年7月14日	無	○	○					○			○				○	○
愛知県	第02300108538号	平成29年12月8日	令和4年10月31日	無	○									○				○	○
岐阜県	第02100108538号	平成29年6月21日	令和4年6月17日	無	○									○				○	○

産業廃棄物処分許可の内容

許可区域	許可番号	許可年月日	許可有効年月日	事業の範囲	廃棄物の種類
滋賀県	第02520108538号	平成28年11月18日	令和3年10月4日	中間処理	廃油(タールピッチを除く、廃食油に限る)
		産業廃棄物処分許可内容: 中間処理 処分方法: 固液ろ過 (中間処理フロー図参照) 種類: 廃油(タールピッチ類を除く、廃食用油に限る) 処理能力: 廃油9.7m ³ /日 施設設置場所: 滋賀県犬上郡豊郷町八町字1602、1609、1610番地			

□ 廃棄物処理フロー



油脂会社へ販売した再生油は、工業用脂肪酸原料として石鹼、塗料などに使われます。特に工業用脂肪酸原料として出荷された再生油は手肌に見える高品質な化粧石鹼に生まれ変わり、廃食油発生源で石鹼として再利用するという循環型社会を構築するリサイクルシステムの提案をしております。

□主な環境負荷の実績

項目	単位	2018年	2019年	2020年
二酸化炭素総排出量	kg-CO ₂	450,319	400,872	410,698
受託収集運搬量	トン	1,774	1,164	1,178
受託中間処理量	トン	1,566	953	1,061
受託最終処分量	トン	0	0	0
廃棄物排出量	トン	125	129	54
一般廃棄物排出量	トン	0.18	0.18	4
産業廃棄物排出量	トン	125	129	50
水使用量	m ³	1509	706	904

※二酸化炭素排出係数 0.418 kg-CO₂/kWh 電力会社の調整後の係数

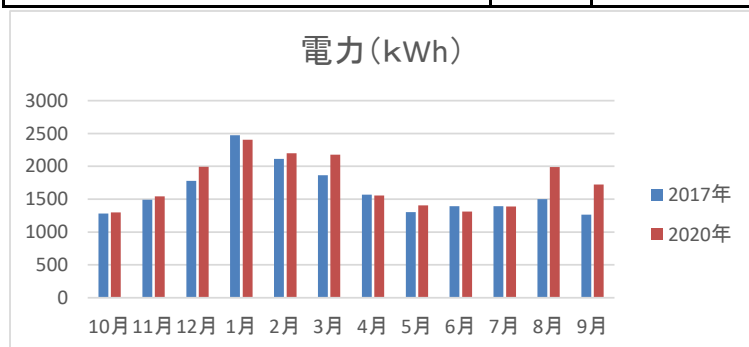
□環境経営目標及びその実績

項目	年度	基準値	2020年		評価	2021年	2022年
		(基準年)	(目標)	(実績)		(目標)	(目標)
電力による二酸化炭素削減	kg-CO ₂	7,975	7,816	8,775	×	7,656	7,497
	基準年度比	2017年	98%	110%		96%	94%
自動車燃料による二酸化炭素削減	kg-CO ₂	396,943	389,004	345,689	○	381,065	373,126
	基準年度比	2017年	98%	87%		96%	94%
工場燃料による二酸化炭素削減	kg-CO ₂	42,317	41,471	48,706	×	40,625	39,778
	基準年度比	2017年	98%	115%		96%	94%
上記二酸化炭素排出量合計	kg-CO ₂	404,925	396,826	354,471		388,728	380,630
一般廃棄物の削減	kg	3,930	3,851	3,710	○	3,773	3,694
	基準年度比	2017年	98%	94%		96%	94%
産業廃棄物の削減	kg	128,790	123,638	49,570	○	123,638	121,063
	基準年度比	2017年	96%	38%		96%	94%
水道水の削減	m ³	166	163	276	×	159	156
	基準年度比	2017年	98%	166%		96%	94%
地域の美化活動に参加する	行動目標(次項による)						

□環境経営計画の取組結果とその評価

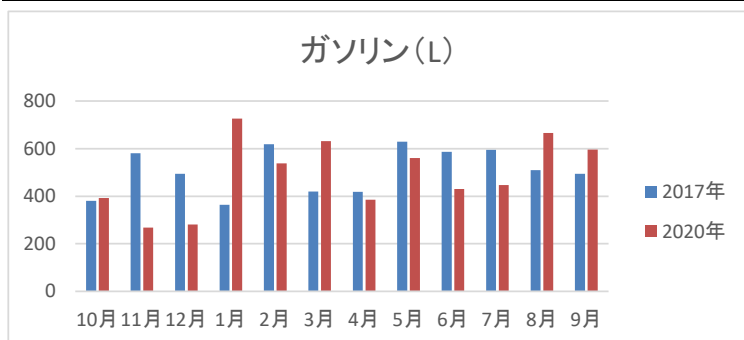
数値目標: ○達成 ×未達成

電力による二酸化炭素削減	達成状況	取組結果とその評価、次年度の取組内容
数値目標	0%	夏場事務所の電力消費が増えたが、換気のタイミングを検討しながら対応してゆく。工場の電力消費が増加したことについてはポンプ稼働時間の増加が原因と思われる。ポンプ稼働時間について効率よく使う事を検討、対策する。
・不要時の消灯	○	
・OA機器などのスイッチオフ	○	
・エアコンの温度管理(夏季28℃±1℃)	△	
・作業時間(稼働時間)を守る	△	
・不要時は停止する	×	

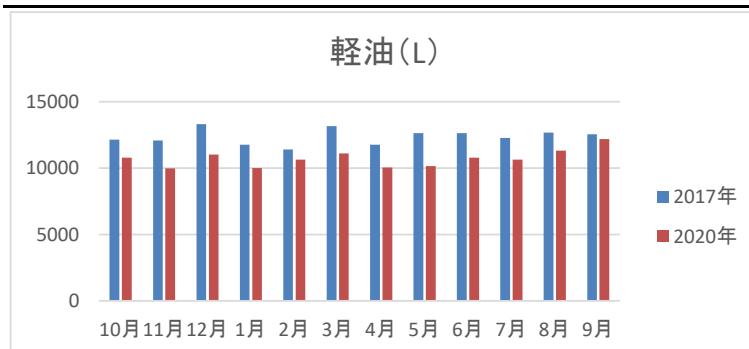


	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月
2017年	1,280	1,493	1,779	2,475	2,113	1,863	1,568	1,303	1,395	1,395	1,501	1,266
2020年	1,300	1,545	1,993	2,404	2,200	2,179	1,554	1,404	1,312	1,390	1,989	1,724

自動車燃料による二酸化炭素削減	達成状況	取組結果とその評価、次年度の取組内容
数値目標	0%	大幅に目標数値を下回り達成した。故障や事故で稼働車両自体少なかった事も原因していると思われる。現在の取組み内容を継続的に実行しこのまま燃料消費の削減に取り組んでいく。
・不要積載物の有無、タイヤ空気圧の確認	○	
・暖機運転・アイドリングストップ	○	
・回収ルート効率よく見直す	○	

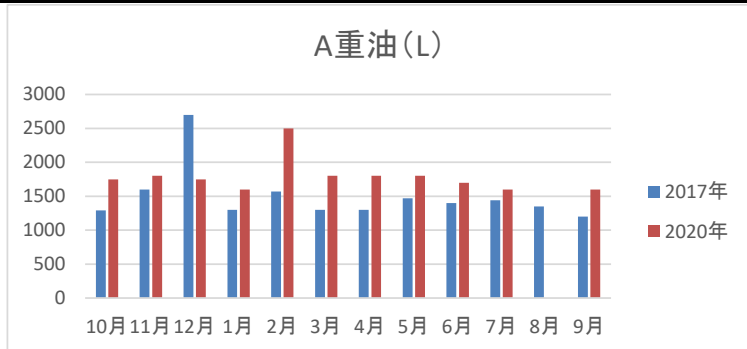


	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月
2017年	381	581	494	364	618	419	419	629	587	595	510	494
2020年	393	268	280	726	538	631	385	561	430	447	666	596

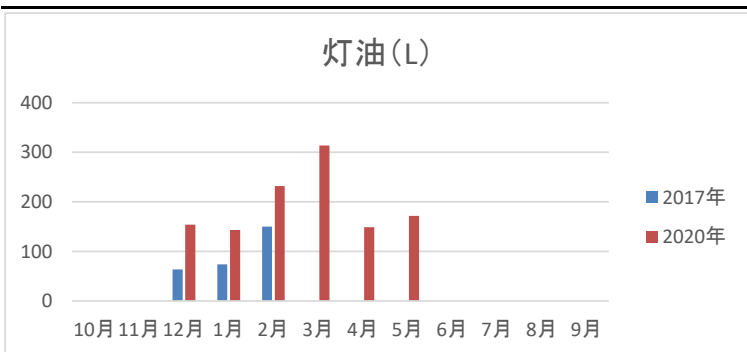


	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月
2017年	12,147	12,076	13,304	11,761	11,394	13,174	11,771	12,636	12,631	12,263	12,673	12,546
2020年	10,779	9,985	11,029	9,994	10,637	11,113	10,045	10,141	10,792	10,638	11,320	12,191

工場燃料による二酸化炭素削減	達成状況	取組結果とその評価、次年度の取組内容
数値目標	0%	廃食油処理量が増えるにつれ、ボイラ稼働時間が多くなり目標を達成する事ができなかった。そのまま使用量の削減を目標にしているが、目標達成は困難と判断。来年度は原単位の目標に見直す必要があると思われる。
・作業時間(稼働時間)を守る	△	
・不要時は停止する	△	
・ストーブの稼働管理	×	

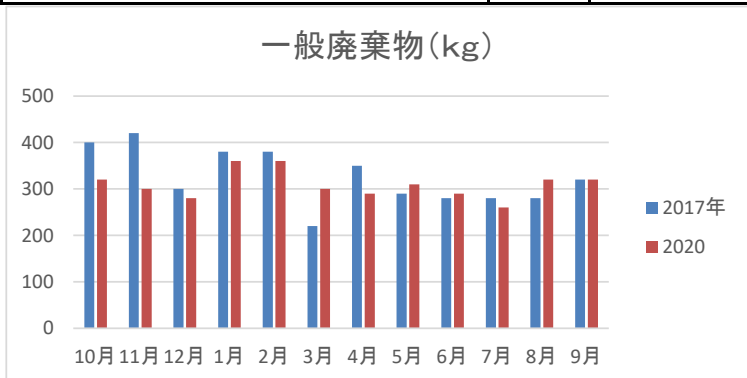


	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月
2017年	1,290	1,600	2,700	1,300	1,570	1,300	1,300	1,470	1,400	1,440	1,350	1,200
2020年	1,750	1,800	1,750	1,600	2,500	1,800	1,800	1,800	1,700	1,600	0	1,600



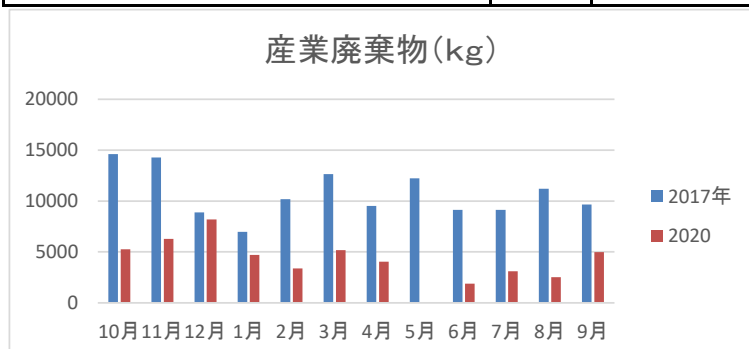
	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月
2017年	0	0	64	74	150	0	0	0	0	0	0	0
2020年	0	0	154	143	232	314	149	172	0	0	0	0

一般廃棄物の削減	達成状況	取組結果とその評価、次年度の取組内容
数値目標	0%	取組みが実行され概ね目標どおりに廃棄物の削減ができた。
・使用済みコピー用紙を再利用する	○	
・無駄な資機材を購入、使用しない。	○	



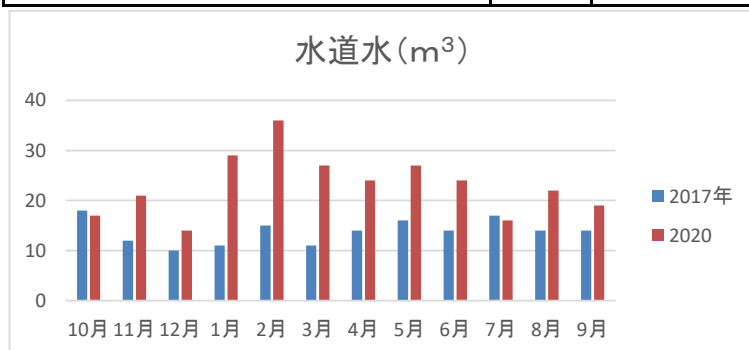
	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月
2017年	400	420	300	380	380	220	350	290	280	280	280	320
2020年	320	300	280	360	360	300	290	310	290	260	320	320

産業廃棄物の削減	達成状況	取組結果とその評価、次年度の取組内容
数値目標	0%	オリ抜きした廃油を再度加熱処理することにより、廃棄油量を削減できた。このまま継続して再加熱処理を行う。
・廃棄物を分別しリユース・リサイクルを	○	



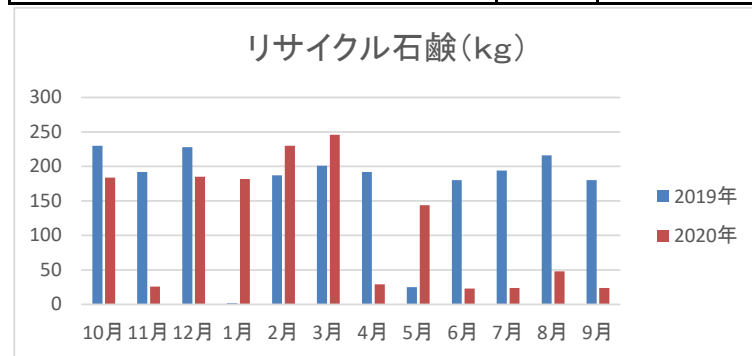
	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月
2017年	14,610	14,290	8,890	6,990	10,180	12,660	9,530	12,240	9,140	9,140	11,210	9,670
2020年	5,270	6,290	8,200	4,720	3,370	5,180	4,040	0	1,900	3,090	2,520	4,990

水道水の削減	達成状況	取組結果とその評価、次年度の取組内容
数値目標	0%	井戸水の水圧が低いため、洗車に水道を使用したため計画目標をクリアできなかった。徐々にではあるが、井戸水の量も回復してきている。来年度も同様であれば、目標を見直すことも検討する。
・洗車時水を出しっぱなしにしない	○	
・節水の表示を掲示	○	



	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月
2017年	18	12	10	11	15	11	14	16	14	17	14	14
2020年	17	21	14	29	36	27	24	27	24	16	22	19

リサイクル製品の積極的な販売	達成状況	取組結果とその評価、次年度の取組内容
・リサイクル製品の積極的な販売	0	これまでの定期購入先がなくなったことにより、販売量は前年の66%にとどまった。しかしながら、新たな販売先もでき、販売数は回復傾向にある。引き続き新規営業活動を行う。
・新規営業活動	0	




	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月
2019年	230	192	228	2	187	201	192	25	180	194	216	180
2020年	184	26	185	182	230	246	29	144	23	24	48	24

グリーン購入の推進	達成状況	取組結果とその評価、次年度の取組内容
・事務用品グリーン購入 購入比率95%以上推進する(単位%)	○	優先的にエコマーク商品や環境配慮型製品を購入するようにしているので、計画通りのグリーン購入ができた。

地域の美化活動に参加する	達成状況	取組結果とその評価、次年度の取組内容
・地域の美化活動に参加する(単位/回)	○	新型コロナウイルス感染拡大の影響により、毎年清掃活動していた地域イベントなどがすべて中止となり、自社近隣の清掃活動を従業員で行った。

□緊急事態対応訓練

緊急事態の想定： 収集運搬車両事故等によるオイル漏れの対応

■実施日時： 2020年3月10日 16：30～17：30		■実施場所：自社工場内、荷捌きスペース	
■参加者：		■実施の様子：	
山田 恭平	今村 詳		
中島 信一	北川 淳也		
山田 雅崇	松永 翔太		
今村 泰徳	浅居 忠義		
久木 由英	浅居 淳二		
松永 義治	諸角 朗		
■評価： 収集車両のオイルの漏れ対応の確認をした。車載のオイルマット、吸着材を使用し訓練。手順通りにオイルを回収対応できた。			
■手順書の変更の必要性 <input type="checkbox"/> あり <input checked="" type="checkbox"/> なし			

□環境関連法規等の遵守状況の確認及び評価の結果、並びに違反、訴訟の有無
法的義務を受ける主な環境関連法規制は次の通りです。

適用される法規制	適用される事項（施設・物質・事業活動等）
廃棄物処理法	一般廃棄物及び産業廃棄物の管理、排出
水質汚濁防止法	事故時の措置
大気汚染防止法	ばい煙発生施設の適正管理
自動車リサイクル法	廃自動車のリサイクル券
家電リサイクル法	家電リサイクル券
資源有効利用促進法	パソコン等リサイクル券
消防法（危険物）	対象危険物の保管の届出
フロン排出抑制法	該当機器なし
地域のゴミ出しルール	一般廃棄物の分別、収集、排出

環境関連法規制等の遵守状況の評価の結果、環境関連法規制等は遵守されていました。
なお、違反、訴訟等も過去3年間ありませんでした。

□代表者による全体の評価と見直し・指示

実施日：2020年11月1日

今年度は、2月以降新型コロナウイルスの流行の為、業務の様々な部分に影響が出た。換気をしながらの室温調整や室内除菌の機器などの導入により電力消費が増えた。水使用量に関しても、例年よりも車両の洗浄や機器の洗浄を念入りにする必要があるため、水量が増加した。しかしながら、産廃削減の取り組みや自動車燃料の消費削減など、順調に成果がでた取り組みもあった。新型コロナウイルスの影響は来年度もつづくと思われるが、今年度の経験を生かし、目標を達成できるように取り組みを進めなければならない。ボイラ用重油の消費量が増加したが、業績が上がれば増加するものと踏まえて、目標を原単位に見直す検討も視野に入れる。また、長期的な対応として、ボイラ買い替え時には現在の重油ボイラから電気ボイラに切り替えることも検討する。

- | | | |
|-----------|--|-------------------------------|
| 環境経営方針 | <input checked="" type="checkbox"/> 変更なし | <input type="checkbox"/> 変更あり |
| 環境経営目標・計画 | <input checked="" type="checkbox"/> 変更なし | <input type="checkbox"/> 変更あり |
| 実施体制 | <input checked="" type="checkbox"/> 変更なし | <input type="checkbox"/> 変更あり |